

かがやき

「千里の道も一歩から」一里=4キロメートル
～ 大きな事柄もまず手近なことから
始めなければならないこと ～

令和 3年 5月 14日(金)発行 第7号

「言葉は何のためにあるのか？」

NBA のワシントン・ウィザーズに所属する八村 塁選手をご存知でしょうか？日本人として初めてNBA一巡目で指名を受け、2年目を迎えた現在も活躍中です。

塁選手のお父さんは西アフリカのベナン出身のベナン人、お母さんが日本人です。塁選手が、晴れの舞台である入団会見で着用した衣装の裏地には、両親の祖国である、アフリカ伝統の模様と日本の浮世絵がほどこされていました。きっと塁選手は、自分を育ててくれた保護者への感謝の気持ちと、自分が存在していることの誇りを、そこに込めたのではないのでしょうか。なんと素敵なことだろうと思います。



八村 塁 選手.NBAで活躍中です

塁選手には弟さんがいます。八村 阿蓮さんと言い、現在、東海大学のバスケットボール部に所属しています。

先日、阿蓮さんが Twitter に公開したメッセージが話題になりました。阿蓮さんのInstagramに送られてきたのは、「死ね、間違えて生まれてきたクロンボ。お前もお前の兄もバスケがうまいだけのただのクロンボ」という言葉。
(※クロンボ …… 黒人の方を差別した言葉)

皆さんは、どう感じるのでしょうか？

阿蓮さんは「日本には人種差別がないと言っている人がいるけど、こうやって人種差別発言をする人がいます。皆さんに今一度人種差別の問題について関心を持っていただきたいと思いました。」と、このメッセージを公開した理由を述べています。それに対して、兄の塁選手は、「こんなの、毎日のようにくるよ。」とツイートしています。

言葉は何のためにあるのでしょうか？人はなぜ言葉を獲得したのでしょうか？のしり合うためでしょうか？それとも、ほめ合うためでしょうか……。非難し合うためでしょうか？それとも、認め合うためでしょうか……。傷つけ合うためでしょうか？それとも、傷をいやし合うためでしょうか……。

「相手の身になる力」が今こそ必要に感じます。そして、注意深く「相手の身になる言葉」を話したいものです。受け取った相手の心がポッと温くなるような…、どこからともなく力が沸いてくるような…、そんな言葉を。

「優しい言葉は、たとえ簡単な言葉でも、ずっとずっと心にこだまする」 ～マザー・テレサ～

マザー・テレサさん=生涯をかけて人のために尽くしました。



～保護者の皆様へ「中間テストに向けて」～

中間テストの範囲を配布して、一週間が経ちました。子どもたちには、目標と計画が大事であると話しています。そこが決まれば、あとは『行動あるのみ!!』だからです。

お子さんの、ご家庭での学習の様子はいかがでしょうか？できれば、早いうちに、『決まった時間に、決まった場所で学習する習慣』を身に付けていきたいものです。

眠そうな目をこすりこすり頑張っているお子さんに、ぜひ温かいお声かけをよろしくお願ひします。何よりの励みになることと思います。



～来週の予定～



今年は梅雨入りが早そうです

17日(月)	諸会費再振替日	15:50頃下校	20日(木)	15:50頃下校
18日(火)	心電図検査・③カット	14:50頃下校	21日(金)	14:50頃下校
19日(水)	⑥カット・部活動なし	14:30頃下校	不要不急の外出、控えてください！！	